

稲作だより

第 10 号

令和 8 年 7 月 28 日発行
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動
西村山農業技術普及課
TEL : 0237-86-8301

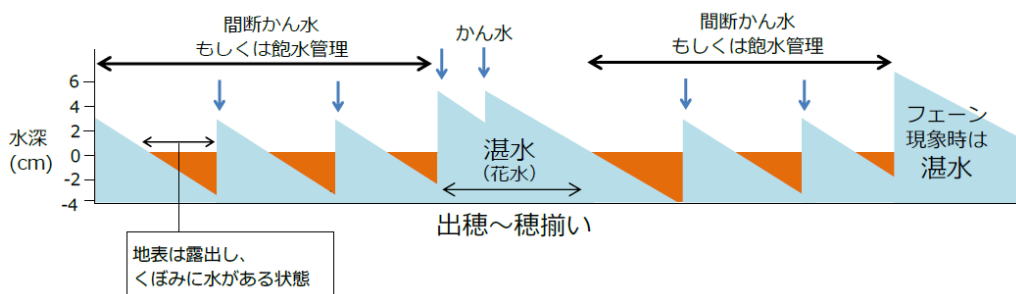
中生品種も出穂期！適切な水管理で品質低下を防止しましょう！

本田管理のポイント

1 水管理

- ・ 出穂期前後は、イネが最も水分を必要とする時期です。出穂前までは間断かん水または飽水管理を継続して土壌を酸化的に維持し、**出穂後から穂揃い期までは湛水状態を保ちましょう。**
- ・ 穂揃い期以降は、間断かん水・飽水管理を実施し、根の活力を維持します。
- ・ 節水管理を心掛け、**かけ流しによる水管理は行わないようにしましょう。**
- ・ しっかり登熟させるため、早期落水はせず、**出穂から 30 日間は水を切らさないようにしましょう。**

水管理のイメージ



飽水管理の様子

2 斑点米カメムシ類対策・・・発生量は非常に多い！

(7/27 農作物有害動植物発生予察情報 注意報第 2 号発出)

- ・ 出穂状況を確認し、「**穂揃期**」+「**穂揃期の 7～10 日後**」の**基本防除を徹底**しましょう。
- ・ 発生状況によっては、2 回目の防除から更に 7～10 日後に補完防除を行いましょう。
- ・ **水田内にノビエやイヌホタルイが多く残っている**場合は、斑点米カメムシ類の水田内での発生が多くなるため特に注意が必要です。
- ・ 出穂前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促し、斑点米の発生を助長するため原則行わないようにします。
- ・ **地域ぐるみの一斉防除**で、斑点米カメムシ類の被害防止を図りましょう！

3 いもち病対策

- ・ 葉いもちが発生した圃場では、治療効果のある薬剤で防除を行いましょう
(特別栽培の場合、使用できる薬剤が生産計画で決まっているため、確認が必要です)。
- ・ 穂いもちの基本防除は「穂孕後期」と「穂揃期」の 2 回です。葉いもちの発生が多い圃場では、「穂揃期の 7 日後」にも防除を実施しましょう。

STOP 農作業事故!!
声を掛け合い熱中症を予防しましょう!!



稲作だよりを
LINE で
発信しています